

日露外相会談・貿易経済日露政府間委員会共同議長間会合(概要)

(7月31日, 於:モスクワ)

平成30年7月
外務省ロシア課

7月31日, 河野外務大臣はラヴロフ外相と日露外相会談(本年3回目, 通算6回目。約1時間30分)を, オレシュキン経済発展大臣と貿易経済日露政府間委員会共同議長間会合(第1回目, 約1時間15分)を行ったところ, 概要以下のとおり。

日露外相会談

1. 今後の政治対話, 二国間関係

- 諸般の事情が許せば, 9月に安倍総理が訪露し, ウラジオストクでプーチン大統領と会談することを確認。首脳会談に向け準備を加速することで一致。また, 外相間でも緊密な連携を図ることで一致。

2. 平和条約締結問題

- 北方四島における共同経済活動について, 事業者中心の「ビジネス・ミッション」を8月16日~20日に派遣すること, その結果を踏まえ9月の首脳会談の前に日露次官級協議を実施すること, そして, これらのために十分な準備を行うことで一致。
- 航空機墓参が昨年に引き続き実施されたことを含め, 元島民の方々のための人道的措置が, 1つ1つ実現していることを歓迎。引き続き取組を進めていくことを確認。

3. 経済

- 次回の首脳会談に向けて, 8項目の「協カプラン」の具体化も含め, 更なる進展に向けた協力を確認。

貿易経済日露政府間委員会共同議長間会合

- 9月の東方経済フォーラムに向けて, 特に極東における協力の進捗を確認し, さらに進展させるため協力を継続することで一致。また, 都市環境, エネルギー, 人的交流等で更なる成果を上げるため, 協力の継続で一致。
- 日露租税条約の早期発効に向けて, 双方の国内手続が進展していることを確認。
- 次回の政府間委員会を可能な限り年内に東京で開催すべく, 調整することで一致。